

学校だより 12月号

令和5年12月1日
鴻巣市立小谷小学校

小谷っ子

TEL 048 (548) 1004

FAX 048 (547) 1467

URL

<https://koya-e-konosu.edumap.jp/>

e-mail koya-e@city.konosu.ed.jp

毎月19日は「食育の日」です

【学校教育目標】 夢・希望にあふれる心豊かな児童の育成



学校での授業の様子から



校長 棚澤 大輔

稲刈りやサツマイモの収穫体験も終わり、運動場の芝生や校庭の木々の色合いも随分と変わってきました。西に見える富士山もきれいに雪帽子をかぶっています。朝晩の冷え込みも強く感じるようになり、季節はいよいよ冬となりますね。



今回は学校での子どもたちの学習の様子についてお伝えしたいと思います。

本校では、子どもたちが年間200日ほど登校し、学年にもよりますがそれぞれ年間1000時間前後の授業を行っています。この数字を見ますと、子どもたちは多くの時間、学校で学習に取り組んでおり、あらためてよく頑張っているなど感じさせられます。

学校教育の目指すところは変遷しており、戦後、一斉指導型の授業、知識や技能の習得を重視した時代から、現在は「主体的・対話的で深い学び」を通して三つの資質・能力（知識及び技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等）のバランスよい育成を目指すものとなっています。

本校でも、子どもたちが学ぶことに興味や関心をもち、学習の進め方を確認しながら学びを進めることや、学び合いや協働による学習の在り方を通して多様な見方・考え方を学び、深めることができる授業を目指し、日々取り組んでいるところです。具体的には、授業のはじめに子どもたちが「どうしてだろう」「やってみよう」と思える投げかけをしながら、この学習で何を学ぶのかを確認して授業を進めていきます。また、問題に個人で取り組む時間を設けるとともに、自分の考えをノートに書くこと、また、一人一台配付されている学習者用端末（パソコン）を使って自分の考えを表現することも行っています。この点はこの数年で授業風景が大きく変わった部分となります。一人一台の学習者用端末の活用により、調べたい事の情報インターネットを通して取得しやすくなり、多くの情報を得ることができるようになりました。また、写真だけでなく動画によって具体的な動きも確認することができます。他にも、これまでは自分で考えたことや調べたことを文章や絵などで伝えていたものが、写真や動画も使って伝えることができるようになり、発表する際に注目してほしいことが伝えやすくなりました。

本校では毎日学習者用端末を用いて学習する機会をもつようにしており、さらに自宅に持ち帰っての活用（学習目的）も推進しているところです。先日授業参観した1年生の教室では、パソコンのカメラで撮った写真を端末画面に表示し、直接写真上に説明の文章を書きこんでいました。それぞれの写真は教室にある大型モニターに表示することができ、みんなに発表するにあたり大変便利となっています。3年生の道徳の授業では、お話の主人公の葛藤する気持ちについて話し合う際に、自分の考えを表明する手段として学習者用端末を用いていました。今までは一人ひとり発表することで伝えていましたが、学習者用端末を用いるとクラス全員の考えが大型モニターに一斉に表示され、自分の考えとは違った考えを知るきっかけとなり、話し合いに時間をかけ考えを深めることができていました。



これからの社会を生きる子どもたちにとって、情報活用能力の育成は必須です。これからも学校では積極的に学習者用端末の活用を推進してまいります。また、家庭への持ち帰りも引き続き行ってまいりますので、子どもたちが持ち帰って使用している際には、ぜひ保護者の皆様にもその様子をご覧いただき、取組の内容に関心を持っていただくとともに、家庭用のスマートフォンも含め、インターネットやSNS等の活用について話し合ってください。機会をもつていただくこともお願いいたします。

ただ、学習者用端末を用いればすべての資質・能力が身につくというわけでもございません。本校では百人一首暗唱や漢字・計算練習、農業体験などの体験学習等、これまでの学習の在り方も引き続き大切にしながら、求められる資質・能力の育成に努めてまいります。